

平成31年2月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年10月10日

上場会社名 株式会社 エービーシー・マート
 コード番号 2670 URL <http://www.abc-mart.co.jp/ir/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野口 実

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 小島 穰

TEL 03-3476-5452

四半期報告書提出予定日 平成30年10月11日 配当支払開始予定日 平成30年11月12日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年2月期第2四半期の連結業績(平成30年3月1日～平成30年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年2月期第2四半期	132,832	3.1	24,652	4.1	25,298	4.3	16,922	5.2
30年2月期第2四半期	128,839	4.5	23,674	1.5	24,260	0.7	16,080	1.0

(注) 包括利益 31年2月期第2四半期 14,265百万円 (10.8%) 30年2月期第2四半期 15,995百万円 (57.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年2月期第2四半期	205.04	
30年2月期第2四半期	194.84	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年2月期第2四半期	289,146	250,996	86.5	3,030.99
30年2月期	279,697	242,507	86.4	2,928.63

(参考) 自己資本 31年2月期第2四半期 250,153百万円 30年2月期 241,706百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年2月期		60.00		70.00	130.00
31年2月期		65.00			
31年2月期(予想)				65.00	130.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年2月期の連結業績予想(平成30年3月1日～平成31年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	263,400	3.6	43,900	1.2	44,600	0.2	29,740	0.1	360.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年2月期2Q	82,532,416 株	30年2月期	82,532,416 株
期末自己株式数	31年2月期2Q	393 株	30年2月期	393 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年2月期2Q	82,532,023 株	30年2月期2Q	82,532,023 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	10

決算データ資料

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成30年3月1日から平成30年8月31日まで)における事業環境は、海外においては、欧米経済の緩やかな成長が見られるものの、貿易摩擦と地政学的リスク等により先行きに不透明感が増してきております。国内においては、企業収益の改善やインバウンド消費の拡大等明るい兆しがあるものの、人手不足の顕在化とネットの台頭等から、設備投資の増加、特にIT投資の拡大が見られるようになりました。国内消費におきましては、ネットの急成長による小売のサービス競争が過熱してきており、オムニチャネル戦略の強化が喫緊の課題となつてきております。

シューズ業界におきましては、引き続きスニーカーを中心としたカジュアル志向のスポーツシューズの需要が拡大しております。また、政府によるスニーカー通勤の推奨を機に、ビジネス上でのカジュアルファッションを後押しする動きがでてきております。

このような状況下、当社グループは、IT戦略の強化、スポーツ関連需要の取り込み、既存店舗の強化に対応してまいりました。上半期の出店につきましては、国内外合わせて69店舗の新規出店を行い、当四半期末における当社グループの店舗数は1,256店舗となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における連結業績は、売上高は前年同期比3.1%増の1,328億32百万円となりました。利益面につきましては、特に海外子会社の収益が改善してきていることから、営業利益は前年同期比4.1%増の246億52百万円、経常利益は前年同期比4.3%増の252億98百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比5.2%増の169億22百万円となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 国内

販売戦略につきましては、当四半期においてもカジュアルラインのスポーツシューズやファッションスニーカーの販売に注力してまいりました。また都心部の大型店を中心にスポーツアパレルや小物等の取扱いを拡大し、シューズと共にトータルコーディネートが可能なMD展開を進めてまいりました。近年トレンドで需要が拡大しているサンダルにつきましては、今夏の猛暑による需要拡大が奏功し、国内外で好調な販売となりました。

店舗展開につきましては、好立地の商業施設やショッピングセンターを中心に新規出店を行い、上半期で37店舗の出店をいたしました。このうち、アスレジャー需要を取り込むための新業態「ABC-MART SPORTS」を8店舗出店いたしました。今後も収益貢献する最適なMDを追求しながら出店を進めてまいります。これらの結果、当四半期末における国内店舗数は968店舗となりました(閉店8店舗)。既存店におきましては、都心部旗艦店の改装を進めており、増床を含めた改装、好立地への移転改装を上半期で24店舗実施いたしました。

当四半期における国内店舗の売上高増収率(インターネット販売を含む。)につきましては、大阪北部地震を始め、西日本を中心とした豪雨や台風による自然災害が相次いだことから、集客が著しく低下した月もありました。その影響が限定的であったことから、既存店で前年同期比1.5%増、全店で前年同期比2.1%増となりました。上半期については、既存店で前年同期比1.1%増、全店で前年同期比1.8%増となりました。

これらの結果、国内における売上高は前年同期比2.0%増の988億88百万円、営業利益は前年同期比2.8%増の221億49百万円となりました。

② 海外

海外の店舗展開につきましては、上半期で韓国で26店舗、台湾で6店舗の新規出店を行いました。当四半期末(平成30年6月30日現在)の海外店舗数は、韓国238店舗、台湾46店舗、米国4店舗、計288店舗となりました。(閉店 韓国8店舗)

海外の業績につきましては、韓国の売上高は前年同期比3.9%増の244億43百万円、台湾は前年同期比16.1%増の28億98百万円、米国は前年同期比11.9%増の71億22百万円となりました。なお、海外連結子会社はいずれも12月決算であります。

これらの結果、海外における売上高は前年同期比6.4%増の344億64百万円、営業利益は前年同期比17.5%増の24億79百万円となりました。

品目別販売実績

品目別	前第2四半期連結累計期間 (百万円)	当第2四半期連結累計期間 (百万円)	前年同期比 (%)
スポーツ	73,827	77,456	4.9
レザーカジュアル	15,310	14,930	△2.5
レディース	10,844	9,881	△8.9
キッズ	8,584	8,982	4.6
サンダル	7,294	7,580	3.9
ビジネス	5,451	5,594	2.6
その他	7,526	8,407	11.7
売上高合計	128,839	132,832	3.1

- (注) 1 上記金額には、消費税等は含まれておりません。
2 上記金額は、国内及び海外の合計で表示しております。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

流動資産合計は、前連結会計年度末に比べ109億51百万円増加し、2,180億51百万円となりました。主な要因は、四半期純利益の増加等に伴う現金及び預金の増加56億37百万円及びたな卸資産の増加48億96百万円等によるものであります。

固定資産合計は、前連結会計年度末に比べ15億2百万円減少し、710億95百万円となりました。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ9億60百万円増加し、381億50百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ84億88百万円増加し、2,509億96百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による増加及び配当金の支払による減少等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ56億48百万円増加し、1,324億30百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金収支は、163億8百万円の収入(前年同期比25億14百万円収入増)となりました。この主な要因は、税金等調整前四半期純利益250億70百万円、減価償却費22億71百万円、たな卸資産の増加額57億69百万円、及び法人税等の支払による支出69億36百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金収支は、32億77百万円の支出(前年同期比30億22百万円支出減)となりました。この主な要因は、有形固定資産の売却による収入12億26百万円、新規出店及び店舗改装等に伴う有形固定資産の取得による支出35億70百万円及び敷金及び保証金の差入による支出7億66百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金収支は、68億81百万円の支出(前年同期比24億28百万円支出増)となりました。この主な要因は、配当金の支払による支出57億73百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

下半期につきましても、スポーツシューズの需要は高いものと予想し、販売戦略といたしましては、引き続きスポーツシューズの販売強化とアパレル展開を拡大してまいります。

出店計画につきましては、当初40店舗の国内出店を計画しておりましたが、当連結会計年度においては計画を上回る出店が既に確定となったため、下半期の計画は都市部を中心に28店舗、通期で65店舗の出店に変更しております。出店余地のある商業施設においては同施設内に複数店舗の出店を目指し、新業態の出店を進めてまいります。スポーツファッション専門店「ABC-MART SPORTS」の出店も進めてまいります。既存店につきましては、引き続き都市部大型旗艦店の改装を進めてまいります。この秋、銀座と原宿にグランドステージ業態でリニューアルオープンを予定しております。その他、既存店舗の好立地への移転、増床を伴う改装や、業態変更を伴う改装も積極的に進め、新店との差別化を図ってまいります。海外の出店につきましては、下半期も韓国を中心に20店舗程計画しております。

また、インターネットを活用した実店舗での販売強化やインターネット通信販売の強化に努めてまいります。

以上の見通しに基づき、平成31年2月期の通期の連結業績を鑑みた結果、ほぼ計画通りに推移していることから、平成30年4月10日の決算短信で発表しました通期の連結業績予想は変更いたしません。ご参考までに、連結売上高は前期比3.6%増の2,634億円、営業利益は前期比1.2%増の439億円、経常利益は前期比0.2%増の446億円、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比0.1%増の297億40百万円を見込んでおります。

(ご参考)

① 連結通期予想

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
当期予想	263,400	43,900	44,600	29,740	360.34
前期実績	254,283	43,386	44,501	29,714	360.04

② 個別通期予想

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
当期予想	191,100	39,500	40,730	27,170	329.21
前期実績	186,243	38,686	40,719	27,156	329.04
当第2四半期累計期間実績	98,208	21,851	22,651	15,174	183.86

※業績予想に関する留意事項

上記の業績予想に関しましては、現時点で得られた情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確定要素が含まれております。実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	126,963	132,600
受取手形及び売掛金	9,386	9,576
たな卸資産	64,390	69,287
繰延税金資産	1,180	1,204
その他	5,198	5,406
貸倒引当金	△19	△23
流動資産合計	207,099	218,051
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	28,179	29,057
減価償却累計額	△15,022	△15,535
建物及び構築物(純額)	13,157	13,522
工具、器具及び備品	12,463	12,964
減価償却累計額	△8,242	△8,284
工具、器具及び備品(純額)	4,221	4,679
土地	14,111	13,760
建設仮勘定	931	231
その他	474	436
減価償却累計額	△388	△372
その他(純額)	86	63
有形固定資産合計	32,507	32,257
無形固定資産		
商標権	1,996	1,763
のれん	4,109	3,596
その他	1,968	2,074
無形固定資産合計	8,075	7,434
投資その他の資産		
投資有価証券	52	53
関係会社株式	2,647	2,647
長期貸付金	1,953	1,873
敷金及び保証金	25,180	24,691
退職給付に係る資産	83	—
その他	2,114	2,154
貸倒引当金	△19	△17
投資その他の資産合計	32,014	31,403
固定資産合計	72,597	71,095
資産合計	279,697	289,146

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,262	15,845
短期借入金	2,775	1,667
未払法人税等	7,961	8,677
賞与引当金	906	907
引当金	337	287
資産除去債務	16	17
設備関係支払手形	883	872
その他	6,780	7,815
流動負債合計	34,924	36,091
固定負債		
退職給付に係る負債	682	678
資産除去債務	370	370
その他	1,212	1,009
固定負債合計	2,264	2,058
負債合計	37,189	38,150
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,972	19,972
資本剰余金	23,979	23,979
利益剰余金	186,448	197,593
自己株式	△2	△2
株主資本合計	230,399	241,544
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13	14
為替換算調整勘定	11,293	8,595
その他の包括利益累計額合計	11,306	8,609
非支配株主持分	801	843
純資産合計	242,507	250,996
負債純資産合計	279,697	289,146

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年8月31日)
売上高	128,839	132,832
売上原価	59,291	60,912
売上総利益	69,548	71,920
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	1,484	1,604
広告宣伝費	3,452	2,847
保管費	1,413	1,583
役員報酬及び給料手当	12,370	12,714
賞与	371	399
賞与引当金繰入額	873	905
退職給付費用	214	199
法定福利及び厚生費	1,765	1,913
地代家賃	13,404	14,107
減価償却費	2,034	2,177
水道光熱費	1,067	1,092
支払手数料	2,665	2,863
租税公課	858	881
のれん償却額	432	418
その他	3,463	3,557
販売費及び一般管理費合計	45,874	47,267
営業利益	23,674	24,652
営業外収益		
受取利息	67	73
為替差益	20	—
賃貸収入	534	559
広告媒体収入	24	21
その他	154	287
営業外収益合計	801	942
営業外費用		
支払利息	5	4
為替差損	—	37
賃貸費用	183	231
その他	26	23
営業外費用合計	214	296
経常利益	24,260	25,298

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年8月31日)
特別利益		
固定資産売却益	2	53
特別利益合計	2	53
特別損失		
固定資産除却損	120	91
減損損失	215	188
その他	—	1
特別損失合計	336	281
税金等調整前四半期純利益	23,926	25,070
法人税、住民税及び事業税	7,939	8,224
法人税等調整額	△168	△154
法人税等合計	7,771	8,070
四半期純利益	16,154	16,999
非支配株主に帰属する四半期純利益	74	77
親会社株主に帰属する四半期純利益	16,080	16,922

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年8月31日)
四半期純利益	16,154	16,999
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	0
為替換算調整勘定	△160	△2,734
その他の包括利益合計	△159	△2,734
四半期包括利益	15,995	14,265
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	15,907	14,224
非支配株主に係る四半期包括利益	87	41

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	23,926	25,070
減価償却費	2,139	2,271
賞与引当金の増減額(△は減少)	△6	1
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1	3
受取利息及び受取配当金	△68	△74
支払利息	5	4
為替差損益(△は益)	15	△16
固定資産除売却損益(△は益)	118	39
減損損失	215	188
売上債権の増減額(△は増加)	△365	△1,035
たな卸資産の増減額(△は増加)	△6,308	△5,769
仕入債務の増減額(△は減少)	675	1,000
その他	792	1,499
小計	21,138	23,181
利息及び配当金の受取額	65	67
利息の支払額	△5	△4
法人税等の支払額	△7,404	△6,936
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,794	16,308
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,570	△3,570
有形固定資産の売却による収入	83	1,226
無形固定資産の取得による支出	△304	△396
店舗撤去に伴う支出	△66	△70
投資有価証券の償還による収入	492	—
貸付けによる支出	△100	△100
貸付金の回収による収入	188	188
敷金及び保証金の差入による支出	△1,496	△766
敷金及び保証金の回収による収入	548	339
その他の支出	△76	△140
その他の収入	0	12
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,300	△3,277
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	494	△1,107
配当金の支払額	△4,947	△5,773
その他の支出	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,453	△6,881
現金及び現金同等物に係る換算差額	19	△500
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,059	5,648
現金及び現金同等物の期首残高	117,089	126,782
現金及び現金同等物の四半期末残高	120,148	132,430

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成29年3月1日至平成29年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	国内	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	96,489	32,349	128,839	—	128,839
セグメント間の内部 売上高又は振替高	431	47	479	△479	—
計	96,921	32,397	129,318	△479	128,839
セグメント利益	21,545	2,111	23,656	17	23,674

(注) 1 セグメント利益の調整額17百万円はセグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成30年3月1日至平成30年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	国内	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	98,430	34,401	132,832	—	132,832
セグメント間の内部 売上高又は振替高	457	62	519	△519	—
計	98,888	34,464	133,352	△519	132,832
セグメント利益	22,149	2,479	24,628	23	24,652

(注) 1 セグメント利益の調整額23百万円はセグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2019年2月期 第2四半期 決算データ資料
(期間: 2018年3月1日~2018年8月31日)

1. 連結経営成績

(単位: 百万円,%)

	2015年8月Q2期			2016年8月Q2期			2017年8月Q2期			2018年8月Q2期		
	金額	構成比	前期比									
売上高	120,433	100.0	11.5	123,298	100.0	2.4	128,839	100.0	4.5	132,832	100.0	3.1
売上総利益	66,091	54.9	9.0	67,140	54.5	1.6	69,548	54.0	3.6	71,920	54.1	3.4
販管費合計	42,218	35.1	13.7	43,114	35.0	2.1	45,874	35.6	6.4	47,267	35.6	3.0
広告宣伝費	3,028	2.5	▲3.1	2,903	2.4	▲4.1	3,281	2.5	13.0	2,847	2.1	▲13.2
人件費	14,973	12.4	15.4	15,356	12.5	2.6	15,906	12.3	3.6	16,314	12.3	2.6
地代家賃	11,354	9.4	16.1	12,419	10.1	9.4	13,238	10.3	6.6	14,023	10.6	5.9
減価償却費	2,098	1.7	9.6	2,011	1.6	▲4.1	2,026	1.6	0.7	2,171	1.6	7.2
その他	10,764	8.9	15.1	10,422	8.5	▲3.2	11,421	8.9	9.6	11,911	9.0	4.3
営業利益	23,873	19.8	1.7	24,025	19.5	0.6	23,674	18.4	▲1.5	24,652	18.6	4.1
経常利益	24,295	20.2	2.1	24,433	19.8	0.6	24,260	18.8	▲0.7	25,298	19.0	4.3
親会社株主に帰属する当期純利益	14,664	12.2	3.7	16,236	13.2	10.7	16,080	12.5	▲1.0	16,922	12.7	5.2
1株当り当期純利益(円)	191.50	-	-	196.73	-	-	194.84	-	-	205.04	-	-
期中平均株式数(千株)	76,575	-	-	82,532	-	-	82,532	-	-	82,532	-	-

2. 単体経営成績

(単位: 百万円,%)

	2015年8月Q2期			2016年8月Q2期			2017年8月Q2期			2018年8月Q2期		
	金額	構成比	前期比									
売上高	89,527	100.0	7.2	93,705	100.0	4.7	96,314	100.0	2.8	98,208	100.0	2.0
売上総利益	52,176	58.3	6.1	53,580	57.2	2.7	54,650	56.7	2.0	55,692	56.7	1.9
販管費合計	30,788	34.4	9.1	32,232	34.4	4.7	33,385	34.7	3.6	33,840	34.5	1.4
広告宣伝費	2,297	2.6	▲7.8	2,140	2.3	▲6.8	2,325	2.4	8.6	1,613	1.6	▲30.6
人件費	10,990	12.3	11.1	11,487	12.3	4.5	11,542	12.0	0.5	11,913	12.1	3.2
地代家賃	9,177	10.3	10.2	10,173	10.9	10.8	10,626	11.0	4.5	11,006	11.2	3.6
減価償却費	1,134	1.3	3.7	1,158	1.2	2.1	1,138	1.2	▲1.7	1,128	1.1	▲0.9
その他	7,188	8.0	12.2	7,272	0.9	1.2	7,752	8.0	6.6	8,178	8.3	5.5
営業利益	21,388	23.9	2.1	21,347	22.8	▲0.2	21,264	22.1	▲0.4	21,851	22.3	2.8
経常利益	21,909	24.5	2.2	22,331	23.8	1.9	22,608	23.5	1.2	22,651	23.1	0.2
税引後当期純利益	12,996	14.5	3.4	14,815	15.8	14.0	14,950	15.5	0.9	15,174	15.5	1.5
1株当り当期純利益(円)	169.72	-	-	179.51	-	-	181.15	-	-	183.86	-	-
期中平均株式数(千株)	76,575	-	-	82,532	-	-	82,532	-	-	82,532	-	-

3. ABC-MART KOREA 経営成績(期間: 2018年1月1日~2018年6月30日)

(単位: 百万円,%)

	2015年6月Q2期			2016年6月Q2期			2017年6月Q2期			2018年6月Q2期		
	金額	構成比	前期比	金額	構成比	前期比	金額	構成比	前期比	金額	構成比	前期比
売上高	21,427	100.0	18.6	21,265	100.0	▲0.8	23,536	100.0	10.7	24,443	100.0	3.9
売上総利益	10,711	50.0	15.3	10,356	48.7	▲3.3	11,299	48.0	9.1	12,093	49.5	7.0
販管費合計	8,033	37.5	25.6	7,821	36.8	▲2.6	8,917	37.9	14.0	9,579	39.2	7.4
営業利益	2,677	12.5	▲7.7	2,534	11.9	▲5.3	2,382	10.1	▲6.0	2,513	10.3	5.5

*1 ABC-MART KOREAは12月決算であります。

4. 国内出店・閉店の状況

	前期末	2018年8月Q2期		
		出店	閉店	Q2期末
路面店	90	1	0	91
商業ビル	141	2	1	142
S C	467	32	3	496
N S C	82	0	1	81
ロードサイド	101	2	0	103
アウトレット	58	0	3	55
計	939	37	8	968

5. 海外出店・閉店の状況

	前期末	2018年6月Q2期		
		出店	閉店	Q2期末
韓国	220	26	8	238
台湾	40	6	0	46
米国	4	0	0	4
計	264	32	8	288

*1 海外子会社は12月決算であります。